

スタジオの声

『ミニちゃん』とお思い出のみとき

去年の11月のことですが、私と女房と次女の3人でデズニー
 ミーへ行った時の話です。その娘が「今ここにミッキーとか
 ミニーが来て一緒に写真を撮ってくれるから並ぼうよ」と
 いうのです。1枚1500円でもちろん有料なのだそうです。
 並ぶこと50分……ミッキーは30~40分して次の場所へ
 行ってしまい、結局ミニと一緒に写真を撮ることになりました。
 7人が撮ってくれる他に私達の持っているカメラ(借限定)で係の人が
 もう1枚撮ってくれるサービス付きでした。
 ミニーを挟んで右と左に別れて撮るのですが、私は腕を
 組んでくれて「ハイポーズ」。その後私が握手を求めたら
 おまけにハグもしてくれて、オジサンにんまり状態。♡♡
 これでおどろいちゃいけません。彼女が人差し指をくちびるの所へ
 持って来て声は出ませんが「ー」とポーズ。私がホカカンと
 していると係の人が「ミッキーには内緒ですよ」と説明してくれました。
 これには大感動でした。すべての年代の人々を喜ばせてくれる
 デズニランドに感心し、今から呼びすてにするのは止めて『ミニ
 ちゃん』と呼ぶことにします。ハハハハハ (けんや) でした。

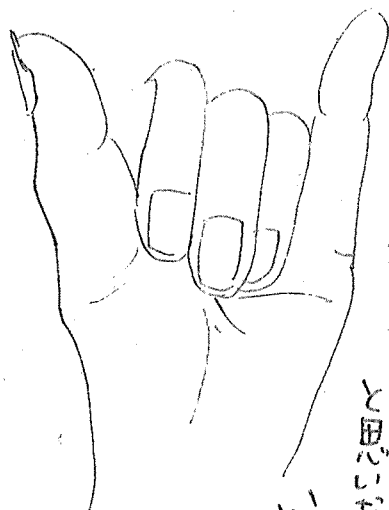
お正月にー。

元旦は姉家族が毎年やってくる日。
 もう子供たちは20名過ぎて全員揃うことも
 最近はないから「今年も姉の初孫が」
 加わり揃って家にやってきました。
 小さな和室にギューギュー。お酒を飲んだり
 食べたり。そこにふたは人がいっほい集ると
 近づかない猫たちが「お正月だからほのか？」
 あちこちから集まってきた。8人、4匹、お料理。
 向こうから手が伸び、こっちから声がかかり母と
 私ほてやわんや。とこで目を丸くしているのが
 初孫ちゃん。どこからともなくやってきた猫たちに
 興味しんしん。体を前のめりにしたから、あち
 こちの猫が「し。初おぼあちゃんの姉と共に
 「たてたてね〜、たてたてギュー!!!」
 「わ〜。!!!、指の間には猫の毛がー。
 猫はといえば「しっかりと糸を結っていました。
 初孫、初猫物語でした。広田

親^指はいつでも子^指を見てる

しかし

子指はどう頑張っても親指の方
 を向けないし見れない。



先日、独り暮らしの叔母のお通夜での説法です。
 親はいくつになっても子供のコトが心配だし……
 親の心、子知らずだし……

「えっ!?」「あ!!」本当だ!!

親が元気がうちに顔を見に行こう!!
 と思いたちながら、も、足は遠くのほうり。
 もっと近づいたらいいよ!!

みはさん
 是非
 あったとは……
 驚き

寒くなく、たまに……

寒くなく、たまに……
 寒いと布団がとこもいとおい
 白々になつていきます。
 冷たい目的ではあるのが、
 くっ下も6枚、毛毯も2枚
 は超厚手のものをほくとぬく
 ぬくしぐらり眠れる様に
 思っています。
 それに強い味方が「愛犬の
 ハチ……
 彼が布団の中に入ると
 てくるとこが天国で
 とこも気持ちがいい……
 眼はさめててもいつまで
 この中にいた……
 一日一日遅くなる時間に
 恐くなる…… 若穂園